

オクオカ知りたいこと集

暮らしの 暮春

オクオカの南東あたり

宮崎 学区編

本編ではオクオカの南東あたりに位置する1学区を対象としています

巻 内

岡崎市
オクオカへ
移住を考えている
みなさんへ

be
natural,
with
nature

このエリアはどんな場所？

平成18年の合併前までは額田郡額田町だったエリアです。豊川市、新城市に隣接しており買い物や通勤通学で隣接の市へ通ったり、通ってくる人も多いエリアです。棚田や猪垣など先人たちが自然と共に暮らしてきた足跡も守りながら、林業や製茶業は今もなお盛んにおこなわれており若い担い手による新しい取り組みも生まれ始めています。また、くらがり溪谷やミ

ツマタ群生地といった美しい自然資源には季節になると市内外から多くの人が足を運びます。人口は決して多くありませんが、閉校となった小学校を地域活性化の拠点にし、市内外から人を呼ぶイベントを実施したり、豊かな自然を存分に生かしながら住民同士が手を取り合い暮らしています。



編集部の声

自然を活かした観光地や産業があります！

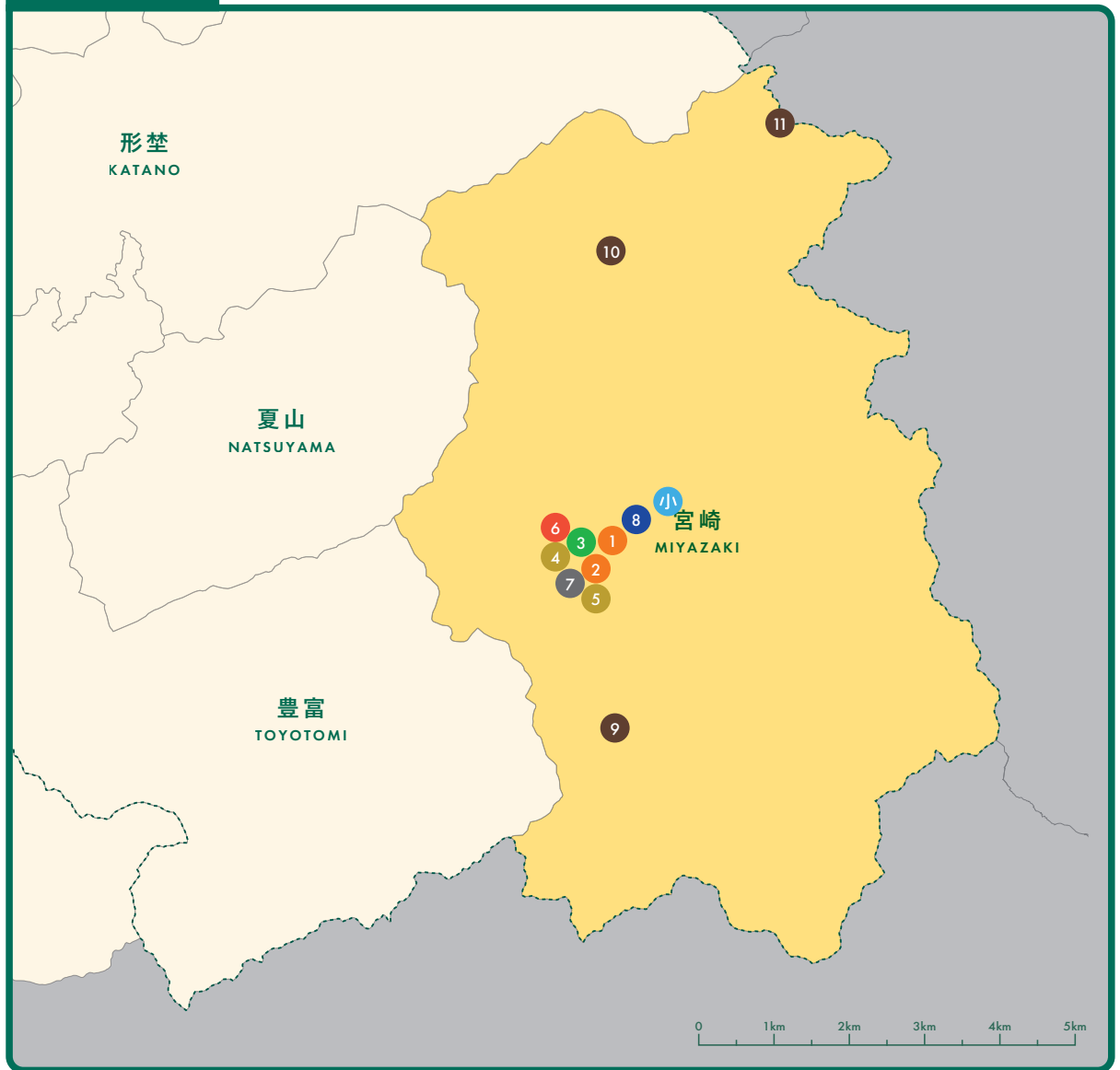
お茶 林業 寺社仏閣 山

受け継がれてきた産業と
それを支える人の温かさ、
そして大自然を
存分に味わえる地域です！！

広いエリアの観光地を巡りながらの
ドライブがおすすめです。

カフェや、くらがり溪谷などの観光地、万足平の猪垣などの史跡が点在しています。車でぐるっと回ってみると、高低差や川との距離などの場所による違いが分かります。森林や茶畑などの景色も楽しみながらドライブしてみてください。

エリアマップ



エリアマップで登場したポイントについて

24 小規模な小売店・コンビニ

- 1 鳥居酒店
- 2 梅村商店

+ 病院・診療所

- 3 岡崎市額田宮崎診療所

¥ 金融機関ATM

- 4 宮崎郵便局
- 5 JAあいち三河 額田支店宮崎店

〒 郵便局

- 6 宮崎郵便局

🛢 ガソリンスタンド

- 7 ENEOS 宮崎 SS

保 保育園

- 8 宮崎保育園

🏢 公共施設・拠点

- 9 みつわ広場
- 10 千万町楽校
- 11 愛知県野外教育センター

人口・面積

宮崎学区の人口は992人、面積はオクオカで最も広く58.7km²あります。そのため、オクオカで最も人口密度が低い学区になります。豊かな自然に囲まれた暮らしを求める人に最適な場所です。

	宮崎
人口	992人
世帯数	483世帯
面積	58.7 km ²

※各小学校から5km圏内にある主要施設を掲載しています。

※ATM、小規模な小売店・コンビニ、郵便局、ガソリンスタンド、児童育成センター、こどもの家、病院・診療所は、エリア内にあるもののみ掲載しています。

このエリアの暮らしの圏内

気になるインフラ・日々の暮らしについて

自然豊かで過ごしやすいオクオカ。とはいえいざ移り住んだら、毎日の生活が待っています。まずは基盤となる足元に注目してみたいと思います。ここでは、買い物、交通、病院・診療所、子育てというカテゴリから日々の生活に役立ちそうな、施設や場所をピックアップしてみます。

※エリア内の主要施設を掲載しています。エリア内にはない場合は、各小学校から最寄りの施設を掲載しています。

買い物

📍 **鳥居酒店** (日用品なども並ぶ地元の酒店です)

宮崎小学校から550m(車で1分)

📍 **梅村商店** (日用品を買うことができる地元のお店です)

宮崎小学校から800m(車で2分)

📍 **はいらっせぬかた** (地元の野菜が並ぶの直売施設です)

宮崎小学校から10km(車で14分)

エリア内には、ガソリンスタンドは「ENEOS 宮崎 SS」があり、スーパーマーケットとドラッグストアはエリア内にはありませんが宮崎小学校から20～30分ほど車で走るとスーパーマーケットは「マグフーズ本宿店」、ドラッグストアは「ココカラファイン 本宿店」と「スギ薬局 本宿店」があります。少し距離はありますが、仕事のついでや週末にまとめて買い物に行ったりと工夫をして生活しています。

交通

📍 **新東名高速道路 岡崎東IC**

宮崎小学校から11km(車で15分)

📍 **名鉄バス**

額田支所市民病院線

📍 **岡崎市コミュニティ交通**

宮崎地区線(のってこバス)

新東名高速道路の「岡崎東IC」には宮崎小学校から車で15分です。「名鉄バス」も本宿駅発着の路線が運航されています。また、名鉄バスが運行していない地区には毎週水曜日に岡崎市コミュニティ交通「のってこバス」が走り地域住民の足となっています。最寄りの駅は名鉄本線「本宿駅」で宮崎小学校から車で20分ほどです。公共交通機関の数が少ないですが、車があれば問題なく生活できます。

病院・診療所

📍 **岡崎市額田宮崎診療所**

宮崎小学校から700m(車で1分)

📍 **富田病院**

宮崎小学校から14.6km(車で21分)

エリア内には病院はありませんが、宮崎小学校のすぐ隣に「岡崎市額田宮崎診療所」があり、月曜から金曜日は時間に制限はありますが診察を受けることができます。また、総合病院も宮崎小学校から車で20分ほどのところに「富田病院」があります。診療所と病院を使い分けながら暮らしています。

子育て

📍 **宮崎保育園**

宮崎小学校から450m(車で2分)

📍 **額田図書館**

宮崎小学校から9.6km(車で13分)

📍 **東部地域交流センター・むらさきかん**

宮崎小学校から18.3km(車で24分)

エリア内には「宮崎保育園」があります。図書館施設は、宮崎小学校から車13分のところに額田図書館があります。プレイルームのある「東部地域交流センター・むらさきかん」までは宮崎小学校から24分です。お買い物などと合わせて寄ってみるのがおすすめです。

編集部の声

コンビニ、ガソリンスタンド、保育園はエリア内にありますが、
買い物や子育て施設、病院は車で30分。
お仕事のついでに買い物をしたり週末買い出しという方が多いようです！

このエリアの魅力図鑑

風土や文化を知るとこのまちをもっと好きになるはず

毎日通うわけではないけれど、このまちの環境を知ること、オクオカ生活が鮮やかなものになるかもしれません。一般にひろく案内されている観光地や史跡から、このエリアを支える産業や教育行事まで、魅力的なものを紹介していきます。もちろん、ここで紹介しているものは数多くあるもののひとつです。ぜひ皆さん自身が発見してみてください！

宮崎 MIYAZAKI

📍 絆の森 | #文化

地域住民とサイクリストが相互理解を図り、継続的な交流を行うことを目的に共に整備したマウンテンバイクのコースがある森です。プロの指導のもとデュアスロンやマウンテンバイクに挑戦できるイベントなどを定期的開催しています。

📍 愛知県野外教育センター | #教育 #自然

宿泊部屋や食堂を備えた本館、体育館、キャンプファイヤー場やキャンプ場がある愛知県の施設です。学校の野外教育等の合宿施設として利用される他、一般の親子向けの野外教育を目的としたイベント等も開催しています。

📍 雨山ダム | #産業

雨山町地内を流れる雨山川に建設された局地的な治水・利水対策のための小規模生活ダムです。雨山川の被害を防ぎ、渇水時には貯流水の放流を行い、貯水池に隣接する雨山浄水場から岡崎市南東部の地域に水道水を給水しています。

📍 ウッドカーリング | #文化 #教育

平成23年に室内で手軽にできるスポーツをつくろうと地元の木材を活用して作られたオリジナルのスポーツです。氷上のカーリングと基本的ルールは同じで、「ウッド」を10メートルほど離れた「ハウス」に入れ、中心に近いほど点数が高くなります。分かりやすいルールのため小学校のレクリエーションや他校との交流でも使われています。

📍 親子探鳥会 | #教育 #自然

宮崎小学校では通常は児童のみで学校周辺を歩いて探鳥会を行います。秋には親子で地域の歴史などを学びながら親子探鳥会を行います。子どもたちは「野鳥検定」にも取り組んでおり、写真や鳴き声で野鳥を充てることでできるようになります。検定の勉強で得た知識を探鳥会で活かしたり、探鳥会で観察した鳥の知識が検定に生きたりと、相互に作用しながら愛鳥教育を実施しています。

📍 巴山 | #自然 #観光

岡崎市と新城市の境界にある標高719mの山。巴川、矢作川、男川の三つの河の源流とされており、山頂にある白髭神社内には三角柱でそれぞれ流れる方向に川の名と藤原俊成(平安末期の歌人)の歌が刻まれた分水嶺があります。

📍 雨山山(天使の森) | #自然 #文化

雨山町にあり、2010年から自然と人の在り方という原点から森林の再生・里山の暮らし・地域循環型産業を考え、その実現に貢献していく『天使の森』プロジェクトが整備を進めている山で、山頂一帯が手入れされています。

📍 みつわ広場 | #教育 #文化

平成22年度末に閉校となった大雨河小学校を改修し、地域交流の場として活用しています。地元有志の集まりである「みつわ会」が岡崎市から委託を受け管理し、今後も中山間地域の活性化のための拠点となるよう整備や計画が進められています。

📍 茶摘み会 | #教育 #自然

宮崎小学校では、毎年5月に、全校生徒で学校内にあるお茶の木で行います。春になると子どもたちはお茶の新芽が出てくる様子などを自然と観察しています。当日は地域の方や保護者も一緒にお茶摘みを行います。お茶の栽培が盛んだったこの地域はお茶摘みの経験が豊富な方が多く、子どもたちに教えながら一緒に摘むことで地域交流の場となっています。

📍 稚鮎の放流 | #教育 #自然

宮崎小学校では、毎年4月に漁業協同組合の方が運んでくる稚鮎を学校の前を流れる男川に全校児童で放流します。稚鮎が大きく成長する理由や餌となるこけの話などを漁業組合の方から教えてもらった後に稚魚が無事に大きくなるように願いながら、全校児童でバケツにすくい放流を行います。稚魚の放流を契機に川をはじめとした学区の自然環境への意識を高めていくことを目的としています。



出典：岡崎まちものがたり



Check!

秋ごろにはぜひ遊びにいきたい場所のひとつ！

📍 千万町楽校 | #教育 #文化

平成21年度末に閉校となった千万町小学校を改修し、市民の交流の場「千万町楽校」として活用しています。地域住民が「千万町・木下ふるさとづくり委員会」を発足し岡崎市より委託を受け管理しています。

📍 ミツマタ群生地 | #自然 #観光

千万町町にはミツマタの群生地があり、3月中旬から4月中旬に開花の最盛期を迎えます。100年ほど前に和紙の原料としてミツマタの苗を栽培したのがはじまりと言われ、その後杉や松の植林がされ、日当たりが悪くなってしまったために一時期は姿を消しましたが、近年山の手入れがなされ、再び日光が差し込むことで、土の中で眠っていた種から芽が吹き、山一帯がミツマタの花で埋まるという美しいミツマタの群生が復活しました。



📍 本宮山県立自然公園 | #自然 #観光

本宮山県立自然公園は、本宮山を中心とし、くらがり渓谷、巴山、雁峰山等の山々及び巴川、寒狭川の河川景観からなる公園です。岡崎市の宮崎地区の山間部もその一部に含まれており、新緑や紅葉の季節には多くの人が訪れます。

📍 くらがり渓谷 | #自然 #観光

本宮山県立自然公園の南西部の標高250m～600mの間に位置します。広葉樹と針葉樹からなる天然林と変化に富んだ滝、淵、岩が美しい渓谷です。その自然を生かしたバーベキュー、キャンプ、マスつりやマスつかみなどの川遊びを楽しむことができます。レジャースポットが整備されています。ハイキングコースもあり、春は新緑と野鳥のさえずり、夏は涼しい清流とカジカの声、秋は紅葉、冬は南アルプス連峰を一望できます。



📍 万足平の猪垣 | #歴史 #文化 #自然 #観光

猪垣は猪・鹿が田畑に侵入するのを防ぐ目的で江戸時代中期から築かれてきました。この地域にある猪垣は、地域で産出される領家片麻岩が使われており、総延長は50km以上とも言われ、全国的にも貴重な存在です。なかでも、万足平の猪垣は愛知県指定文化財(有形民俗文化財)に指定されています。平成17年に地元有志により設立された「万足平を考える会」により、草刈りや崩落した石垣を手作業で修復するなどの保全活動が行われています。



📍 千万町棚田 | #自然 #文化 #観光

千万町町にある面積5.8haの棚田です。住民が主体となって、棚田やミツマタを巡るウォーキングイベントを開催するなどの活動とその風景が評価され、令和4年に農林水産省主催事業である「つなぐ棚田遺産」に選定されました。地域住民が「お助け隊」を結成し、草刈りなど農地を地域で守る取り組みを実施し、棚田の維持管理を図りながら良好な景観を守り続けています。

📍 おとうだいこん | #歴史 #文化

旧暦11月1日、明見町で行われる「オトウの神事」の中で食されます。3日前から輪切り大根の味噌煮(オトウダイコン)の準備が始まる。真っ黒になるまで一昼夜かけて煮込んだオトウダイコンと、洗米をすり鉢ですって液状にしたオシロジロを隣にある明見集會場で食します。

編集部の声

自然を生かした暮らし満喫!モデルコース

9:00 東岡崎駅 — 🚗 40分 → 9:40 石原町の茶畑でお茶(所要時間1時間) — 🚗 20分 →

11:00 千万町棚田(所要時間30分) — 🚗 30分 →

11:40 くらがり渓谷 ※周辺でランチ(所要時間2.5時間) — 🚗 20分 → 14:40 万足平の猪垣(30分)

— 🚗 10分 → 15:20 天恩寺(所要時間30分) — 🚗 40分 → 16:30 東岡崎駅

天恩寺はお隣のエリアですが、万足平の猪垣と合わせて見るのがおすすめ!

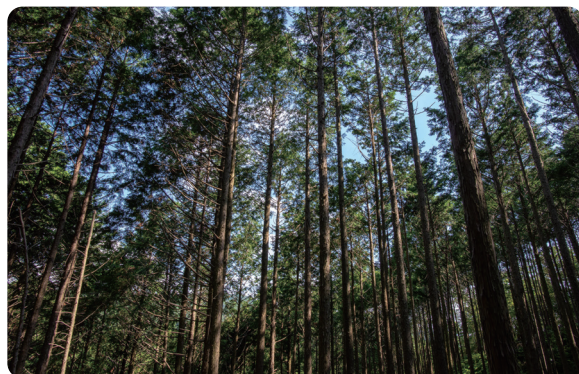
📍 宮崎茶 | #産業

歴史は戦国時代までさかのぼり、明治から昭和にかけては、「宇治茶」「川根茶」となる全国三大銘茶の一つ、「宮崎茶」として重んじられてきました。霧の多い山間の穏やかな陽ざしと寒暖差、山からの湧き水がお茶の栽培に向いていたことから栽培が盛んになりました。茶業組合の製茶場もあり、そこで作られたお茶はペットボトルで「宮崎茶」としても売られています。最近では、後継者による新たな取り組みも生まれてきています。



📍 林業 | #産業

岡崎市域の60%は森林であり、その大部分がオクオカに含まれています。特に宮崎学区は明治時代に山本源吉氏により山焼きが廃止され全国に先駆けて植林が推進されました。そのおかげもあり戦前戦後は林業地として栄えました。現在でもかつて町の財産として植え、管理され続けた「宮崎財産区」の森は美しく優良な木材が収穫できる森となっています。明見町には岡崎森林組合があり林業の中心的な場所となっています。



📍 岡崎森林組合 | #産業

岡崎森林組合は、木材の価値を高め、森林の持つ公益的機能を最大限に発揮させるために、組合員の所有森林を中心に森林整備を行っています。作業道をつくり、木の伐採を行い伐った木を集めて、各地の市場に出荷しています。最近では都心部で大きくなりすぎしまった木の伐採や、林業作業や組合員のための道具の手配やメンテナンス。また、森林所有者の立場から都市部住民への情報発信も実施しています。



Check!

林業の最盛期は冬。冬になると森林組合の場には出荷を控えた丸太が山になって並びます。

自然や文化について聞いてみました

自分たちの暮らすまちを知る喜びを味わえるかも

「まちの歴史や史跡の意味を知ると、今まで見ていた風景がちょっと違って見えてくるから面白いです。」と、地元の史跡を回るツアーを実施している竹内さんは語ります。歴史資源もそれを語れる人もいるこの学区に暮らすと新しい地域の見方や関わり方が見つかるかもしれません。



竹内謙作さん
(宮崎町に通う)

小学校の教員として働くと共に地域の歴史などを調べて伝えるツアーなどを実施しています。

大先輩たちに囲まれた子育ては意外と快適です

70代～80代の大先輩に見守られながらする子育ては「親はどうしたって人と比べちゃうけど、そういうことに一喜一憂しないで、存在全肯定、今日も元気でそれでよし、みたいな空気はとても助けられる。」と唐澤さんは笑います。まちでの子育てとは一味違う経験が、親も子もできそうです。



唐澤萌さん
(千万町在住)

2015年に移住。アルバイトやご主人の林業の手伝いをしながら子育てに奮闘中。

いろんな人に見てもらいたい風景があります

「歩いて行ける場所にホテルが飛んでると分かり今日はいけるかな?って毎日見に行っていました。」と、移住して1年余りの難波さんが教えてくれました。ミツマタ、ホタル、アユなど四季に応じた自然の恵みがすぐそばにある暮らし。なんだか楽しい毎日が待っていそうです。



難波敏憲さん
(中金町在住)

地域活動への参加経験などを経て、2023年にオクオカに移住。市内の職場にオクオカから通っています。



このエリアの小学校・中学校

自然豊かなオクオカでのびのびと子育てしませんか

自然豊かなオクオカでは、まわりの環境そのものが偉大な「先生」なのかもしれません。歴史を引き継ぎ、文化や環境のなかで育まれてきたオクオカにある小中学校を紹介していきます。

📍 宮崎小学校

創立：明治6年（1873年） 生徒数：21人（2024年度）



豊かな自然環境を生かして「茶摘み会」「稚鮎の放流」「探鳥会」等を地域の協力のもと行っています。探鳥会では、生徒みんなで鳥の名前を覚え、年3回の「野鳥検定」を実施している他、秋には地域の歴史を合わせて学ぶ「親子探鳥会」も行います。個々が輝ける教育活動を通し、豊かな心を持ち、自分を高めていける子供を育てています。

📍 額田中学校

創立：昭和47年（1972年） 生徒数：173人（2024年度）

豊富学区、夏山学区、宮崎学区、形埜学区、下山学区の生徒が通います。



豊富、宮崎、形埜、下山の4中学校が合併してできた旧額田町唯一の中学校です。生徒たちに「敬友」「自愛」「信頼」の精神を育むことを目指しています。中学校区が広いため、学校の北西に敬信寮がありましたが、現在は閉寮となり、生徒は毎日スクールバスで通学しています。

小規模特認校指定校とは

小規模特認校制度は、岡崎市内の小学校に在籍する児童であれば、現住所のままで一定の条件のもと、小規模特認校として指定された小学校に入学・転入・編入できる制度です。市内の自然環境に恵まれた小規模特認校に通学することにより、地域の特色を生かした教育活動のもと、きめ細やかな指導を通して、豊かな人間性や健やかな体、確かな学力を身につけさせることを目的としています。2024年度時点で、恵田・形埜・下山・夏山・秦梨・宮崎の6つの小学校が指定されています。